29191104‐2 ＥＳＤＧｓ通信　　手島利夫です。

　皆様、１１月に入り今年も残すところ２か月を切りました。年内に１５回の講演・授業等をすすめてまいります。日程的には５日連続や、北海道懇親会つきの日帰り弾丸ツアーなど体力勝負の日々ですが、出会いや学び合いを大切に努めてまいります。

さて、今回お伝えするのは２点です。

①　国連広報センターの千葉様から頂いた重要な情報です。

ＳＤＧｓのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドラインが今年８月に改定され、その日本語版がこのたびウェブ上に掲載されたことのお知らせです。

<https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/>

 一見何も変わっていないようにも見えるのですが、微妙にフォントが変わっています。また17のアイコンがすべて入ったポスターの、18番目のボックスがSDGｓロゴからホイールに変更されるなどしているそうです。チラシの作成等ご確認ください。

②　台風１５号・１９号を経験して、皆さんはどんな問題意識をお持ちになりましたか？

大阪市立南小学校でＳＤＧｓの授業をご一緒した京都造形大学の竹村眞一先生(「触れる地球」スフィア開発者で、南小学校での授業でもこれを使って展開されました)から、激甚気象災害の常態化をどう見るか・どう対応するかについて、国土設計スキームや社会ＯＳのアップグレードの必要性から書かれた論文「防災の三角形―Sustainability2.0へ」をいただきました。竹村先生のご了承をいただき共有いたします。私は共感をもって読みましたが、「持続可能な社会」に向けて取り組もうという皆さんは、どのようにお感じになりますか。今のお立場で参考にしたり、具体化へのヒントにしたりできる部分はありませんか。こちらからご覧ください。[2019年11月4日【20191104 竹村眞一先生　【SDGs実現への論文](https://www.esd-tejima.com/10-36.docx)】

また、この触れる地球スフィアについて紹介するプレゼンもご提供いただきましたのでご興味のある方はご覧ください。[【20191104 竹村眞一先生「スフィアの紹介](https://www.esd-tejima.com/10-37.pptx) 」

また、スフィアを使った授業の依頼を検討される方は、

京都造形芸術大学教授 竹村眞一様 takemura@blue.ocn.ne.jp　に直接お問い合わせくださいとのことでした。

大阪市立南小学校のお子さんたちは、ＳＤＧｓへの関心が高まっていましたので５年生でも３０分間、かなり集中して学習していましたが、一般的には担任の先生がワークシート等を用意して、驚いたことなどを途中で書かせる場面をつくると、一層効果的かと感じました。

今回のＥＳＤＧｓ通信は、「ＥＳＤ，ＳＤＧｓを推進する手島利夫の研究室」新着情報からもご覧いただけます。

<https://www.esd-tejima.com/newpage6.html>

今後ともよろしくお願いいたします。